



1998年9月24日  
本田技研工業株式会社  
広報部

## ホンダ、新世代オープンスポーツ「S2000」プロトタイプを発表

本田技研工業(株)は、かねてより開発を進めてきたオープンスポーツカー「S2000」プロトタイプを発表した。

1995年の第31回東京モーターショーにコンセプトカーとして出展したSSM(スポーツ・スタディ・モデル)の具現化である「S2000」はFR(フロントエンジン・リアドライブ)、高性能かつ低排出ガスの新エンジン、電動オープントップなどによって操る喜びの追求をテーマに開発した新世代オープンスポーツである。

エンジンは、新設計コンパクト2.0リッター DOHC VTEC LEVで最高出力240馬力以上の高性能と排出ガスのクリーン化を両立している。

「環境や安全といった社会ニーズをふまえたうえで、走る楽しさ、操る喜びに焦点をあて、新しい世代のスポーツカーをつくりたいというホンダの熱い思いを結集させた自信作であり、これからのクルマづくりを示す一台でもある。」と吉野浩行社長は語っている。

今後多岐にわたる開発テストを繰り返し商品性能を熟成し、来春以降日本をはじめ世界での発売を予定している。

HONDA  
S 2000 PROTOTYPE

はじめに

ホンダはこれからも、「走る楽しさ」を大切にしながらチャレンジを続けます。

創業以来50年の今日に至るまでホンダは、世界中のお客さまに喜びを提供したいという理念のもと質の高い製品の創造に全力を尽くしてきました。クルマづくりにおいては、走る楽しさを第一に追求。操る喜びの水準を時代とともに向上させることに情熱を注ぎながら安全性や機能性も高度に進化させてきました。

クルマに、より高度な社会性が求められるこれからの時代においてもホンダは、走る楽しさを変えることのない情熱で追求しさまざまなクルマを創造していきたいと考えております。

走る楽しさを第一に追求するホンダにとって四輪車参入以来、ホンダスポーツにはじまる歴代のスポーツカーの開発はホンダらしいクルマづくりの根幹を成すものであり、最も熱くチャレンジングスピリットを投入する存在です。

創業50周年を迎えた本日、これからのクルマづくりにかけるホンダの挑戦を最も熱く語る一台として新たなスポーツカー、ホンダS2000プロトタイプを発表いたします。

HONDA  
S 2000 PROTOTYPE

ホンダS2000プロトタイプの開発コンセプト

人とクルマの一体感をきわめ、  
操る楽しさを追求しながら、社会との調和を  
大切にしたいオープンスポーツをめざして。

ホンダS2000プロトタイプの開発に当たりホンダは、  
走る楽しさのために、人とクルマの一体感をきわめるとともに  
安全・環境など社会との調和を高度に達成することをめざしています。

人とクルマの一体感とは、思い通り加速し、止まり、曲がるための  
スポーツカーの操る楽しさの核心ともいえる「軽快さ」と「人車一体感」。  
さらに、風や光などクルマの周囲との一体感までも爽快に楽しめる  
オープンスポーツスタイルであることです。

こうした、人とクルマの一体感を高次元で  
融合させるための技術的観点と、多くの方にリアルスポーツカーをもっと身近に  
楽しんでいただきたいという考えから2リッターという排気量を選択。  
ホンダ先進のテクノロジーを投入し、ビークルダイナミクスをきわめながら  
安全性、地球環境適合性といった社会調和性も徹底して追求。  
コンセプトを高度に達成すべく開発を行っております。

HONDA  
S 2000 PROTOTYPE

ホンダS2000プロトタイプ of 技術概要

時代に適合したスポーツカーとして  
新しいスタイリング、高性能、安全性、  
環境への配慮を高次元で融合。

これからのクルマづくりにかける

ホンダのチャレンジングスピリットを熱く語るスポーツカーとして

独自性の高いダイナミックなエクステリアデザインを創造。

きわめてシャープなオープンスポーツスタイリングのなかに

人とクルマの一体感を高度に達成すべくクルマの本質的な性能を

徹底して磨き上げるとともに先進の環境技術を投入しています。

パワーユニットでは、リッター当たり120馬力以上の高出力を確保しながらも

環境適合性の高いホンダLEV(ローエミッションビークル)化を実現。

しかも、きわめてコンパクトな2リッター直列4気筒DOHC VTEC自然吸気エンジンとし、

ハイパワーをスムーズに引き出す6速マニュアルトランスミッションを新開発。

爽快な加速感、操る喜びを高いレベルで実現しました。

ボディでは、オープンスポーツカーながら、クローズドボディに匹敵する

高剛性ボディを新開発。運動性能向上のために欠かせない

優れた高剛性を確保しながら、世界最高水準の衝突安全性を達成しています。

また、新開発のコンパクトなエンジンを前輪車軸の後ろに配置する

ビハインドアクスル・レイアウトなどにより、50:50の理想的な前後重量配分を

実現したフロントエンジン・リアドライブの駆動方式を採用。

ホンダS2000プロトタイプは、

爽快な走りを楽しむオープンスポーツカーでありながら

きわめて高いビークルダイナミクスを実現しています。

4

HONDA  
S 2000 PROTOTYPE

## ホンダS2000プロトタイプ的主要諸元。

- 全長4,115mm 全幅1,750mm 全高1,285mm ホイールベース2,400mm
- 高剛性オープンボディ
- 電動ソフトトップ
- フロントエンジン・リアドライブ／フロント・ビハインドアクスル・エンジンレイアウト
- 前後重量配分50:50
- 新設計コンパクト2.0リッター4気筒DOHC VTEC LEVエンジン 最高出力240馬力以上
- 新開発6速マニュアルトランスミッション
- ホンダLEV(ローエミッションビークル)
- ホンダ独自基準による世界最高水準の衝突安全性能  
(フルラップバリアテスト55km/h、オフセットバリアテスト64km/h対応)
- 生産: 栃木製作所高根沢工場
- 発売時期: 日本 1999年春(ホンダベルノ店)
- 発売地域: 日本、北米、欧州、アジア大洋州